

# ロボット導入と社員の多能工化で 労働環境を改善した金物メーカー

## 課題

## 社員の疲弊と受注機会逸失を改善したい

金物産業が盛んな新潟県燕三条地域で、建築用金物である換気口部品の製造を行う株式会社シルファー。高層用・防風型換気口を主力製品とする同社は、生産出荷額では競合他社に届かないものの、防音効果と強風対応に優れ、厳しい住環境に耐用可能な換気口製品を製造する会社として、業界内で高く評価されている。近年の景気回復の恩恵を受けて順調に業績を伸ばし、とくに7割を占める首都圏の顧客からの受注は拡大傾向が続いている。

しかし、同社ではスポット溶接、塗装などの工程において、高度な技能をもつ熟練社員に身体的、心理的負担が集中していた。これらは属人化の傾向があり、経営者は技量の伝承が進展しないことや、特定の熟練社員に過度な負担が継続することで離職者が発生するリスクを抱えていた。

また、同社では正式な受注前に年間生産計画に基づく見込み生産を行っているが、見込み生産と実際の受注に大幅なikai離が生じる場合、作業できる熟練社員に限定されているため、急な受注が受けられないケースもあった。

平成29年11月、新たな設備導入のための資金調達で金融機関を訪れた同社は、融資実行とあわせて経営力向上計画の策定を勧められ、岩室商工会に支援を求めた。

相談を受けた商工会は、経営力向上計画の作成にあたり、多能工化の進捗遅れが受注機会の逸失要因となっていることや、単なる設備導入だけでは生産性向上の効果が不十分であることを新たな経営課題として明確化。解決に向けて取り組みを行うことになった。

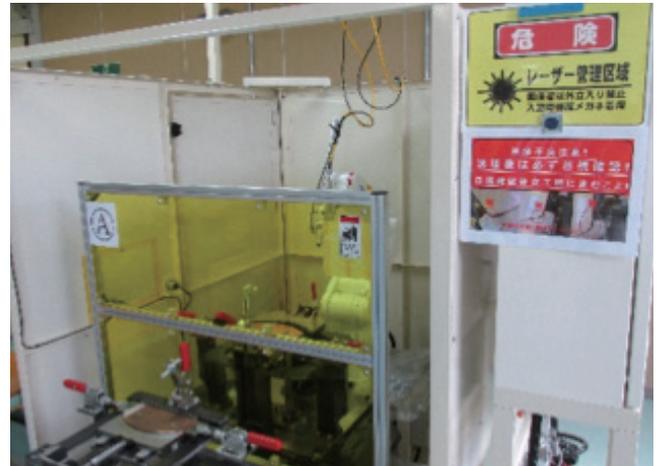
## 支援

## 単能工から多能工への 転換で生産性向上

同社が抱える課題に対し、商工会はまず、単能工から多能工への転換促進を検討。配置転換計画の策定支援と、熟練社員とパート社員との社内検討会の開催を提案した。また、作業手順を熟練社員による動画や一覧表などでわかりやすく表示し、誰もが作業を行えるように工夫した。

さらに、作業負担の均一化と熟練社員の負担軽減に向けて、レーザー溶接ロボットの導入などの支援も行った。

こうした改善により、熟練社員の心理的、身体的負担を軽



計画の中心となったレーザー溶接ロボット

減させ、離職を防ぐことができた。また、2名の熟練社員しか従事できなかった工程に合計6名の社員が従事可能な体制となり、さらに2名が現在教育訓練中である。これにより、熟練社員は、さらに上のスキル取得に取り組むことも可能となった。

現段階では従来の熟練社員が中心となり社内の新しい生産システムの構築にも取り組んでおり、将来的には現保有の経営資源を活用した高度な製品開発により、さらなる業績向上につなげていくことが期待される。

## 支援の経過

期間	支援内容
H29年12月	ヒアリング開始、 経営力向上計画の申請支援
〃	経営力向上計画の承認

## 会社概要

会社名：株式会社シルファー  
住所：（工場）新潟県新潟市西蒲区植野新田57  
電話番号：0256-82-5700  
URL：http://www.sylpha.co.jp  
代表者名：代表取締役 川口聡  
創業年月：平成5年  
年間売上高：4億9946万円（平成29年）  
従業員数：37名  
商工会名・担当者名：岩室商工会・本間晃